

i C S レター

～学校支援ボランティア 特集～

発行元:教育委員会事務局 地域教育力推進課 地域連携係 TEL3579-2619

今回のi C Sレターでは、学校の困りごとや問題を解消・解決するために、学校支援地域本部が活躍している例を紹介いたします。

上板橋第二小学校(9月11日第2回CS委員会にて報告)

上板橋第二小学校では、現在、保護者の方に「検温チェックボランティア」をしていただいています。学校からの依頼に基づいて、地域コーディネーターが呼びかけ、9月11日時点で、17名の方が参加なさっていました。「検温チェックボランティア」は、登校してきた児童の「生活リズムチェックシート」を確認し、体調に異常がないかチェックしています。



ボランティアを導入する前には、お互いの感染リスクが高まるのではないか、という不安の声もあがりましたが、感染防止ガイドラインを作成し、感染対策を十分にとった上で、活動を行ってくださっています。先生方も負担が減り、他の教育活動に時間を使えるようになったため、大変助かっているとお聞きしました。

上板橋第二小学校での 周知の取組

廊下の一角にi C Sの掲示板を作成し、委員の皆様からのメッセージなどを掲示しています。



昨年度の保護者アンケートで、「i C Sが何かわからない。」という意見が多く見られたため、学校公開日には、受付に移動式のホワイトボードを用意して、i C Sの紹介を掲示しています。



下赤塚小学校(9月16日第2回CS委員会にて報告)

下赤塚小学校は、第1回のCS委員会で学校から手助けしてほしいことについて委員へ相談しました。そして、夏季休業中のうさぎの世話や花壇の整備などについて、地域コーディネーターに募集から調整までを行っていただきました。その結果、たくさんの保護者の方が参加してくださいました。2学期からは週に2回、教室内の清掃ボランティアをしていただいています。



地域コーディネーターの方は、「実際に活動を始めてみて、正しい手順で感染対策をすれば地域の人や保護者にも学校内に入らせていただくことが可能だと感じている」と委員会内で報告されていました。



高島第六小学校(9月15日第2回CS委員会にて報告)

高島第六小学校では、1学期からPTAや地域コーディネーターと相談して、2学期から校舎内の消毒ボランティアを募集することになりました。アプリを利用して、月ごとにボランティアを募集しています。保護者や地域の方の協力を得て、子どもが安心・安全に楽しく学校生活を送れるように工夫しています。



新型コロナウイルス感染症により、例年行っている多くの活動を行うことができなくなっています。そんな中でも、学校と地域コーディネーターが連携をとり、できることを模索していただいています。

引き続き、各校でのCS委員会の様子やCS委員会での話し合いが実際の活動につながった事例について、見学やインタビューをさせていただきたいと思います。各校のアピールポイント等がありましたら、ぜひ担当までお知らせください！各校独自の取組や魅力的な活動を紹介し、板橋区コミュニティ・スクールの一層の充実を図っていきたいと思います！！